別紙様式

平成３０年度 附属学校研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	『学び伸ばし・学び直しセミナー』事業の継続と一層の充実－ ～附属生一人一人の個性や特色を伸ばす取組の充実～
事業実施代表者名	附属旭川中学校長　石塚　博規
実施附属学校名	附属旭川中学校
事業内容 （実施内容について、1,000 字程度で記述）	【目的】 課外となっている放課後を，学習内容の確実な定着に加えて，生徒の興味・関心や特性を一層伸ばし・高める時間として活用する。 【取組内容】 **１　学習内容の確実な定着を図る支援体制と教材の整備** ○教科の学習の補習及び発展的な内容への挑戦 原則として，毎週，活動予定のない，月・水・金曜日の放課後（～17:30）の時間を活用して，生徒の発展的な学習及び補充的な学習を支援する「セミナー」を実施した。 **２　生徒の興味・関心や特性を伸ばす取組のための支援体制と教材の整備** ①各種検定試験（漢検，数検，理検，英検など）への挑戦 各種検定試験（実用英語技能検定：英検，日本漢字能力検定：漢検，実用理科技能検定：理検，算数・数学思考力検定：数検，ニュース時事検定：ニュース検定の受験を実施した。 ②「科学の甲子園ジュニア大会」北海道地区大会に向けた取組
成果と課題 （活動の成果と課題について、500 字程度で記述）	**１について** 〈セミナー満足度〉 セミナーに参加した全ての生徒及びその保護者が，次年度以降も放課後の時間を活用した「セミナー」を続けて欲しいとしている。 一方で，開催日時が部活動の時間と重なることから，「ずらしてほしい」という要望も聞かれる。 〈データから〉 ・平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果 全国平均との全教科で 10 ポイント以上上回っている。 （国Ａ：+13.6，国Ｂ：+20.3　数Ａ：+13.4，数Ｂ：+26.4　理科：18.5） **２について** ①各種検定（合格者数）

	・英検　　　　H30：73名 （H27：92名，H28：128名，H29：103名） （２月４日現在の合格者であり，第３回の２次受検者を除く） ・理科検定　　H30：９名 （H27：０名，H28：６名，H29：17名） ・思考力検定　H30：49名 （H27：73名，H28：60名，H29：66名） ・漢字検定　　H30：20名 （H27：64名，H28：81名，H29：97名） ・ニュース時事能力検定　H30：12名 ②「科学の甲子園ジュニア大会」 上川地区代表として北海道地区大会に出場
今後の発展性 （残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述）	1　生徒自身の「自らを高めようとする」意識を高めること ・生徒の意識改革 「自分を高める」意識の一層の高揚を図る。 ・指導側の人的配置 現在，時間講師の空き時間で対応をお願いしているが，積極的・前向きな生徒が多く参加していることから院生・学部学生の活用を検討する。 2　今後，一層，育むことが求められる資質や能力に関すること ・英語に関する検定については，英検以外の「ＧＴＥＣ」などについても検討し，全校生徒が受験する方向で実施について検討する。 ・ニュース検定を増やしたが，今後，他の検定についても検討する。
事業の公表状況 （事業をＨＰで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入）	・学校新聞として，２の結果を掲載する。

（注）当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。